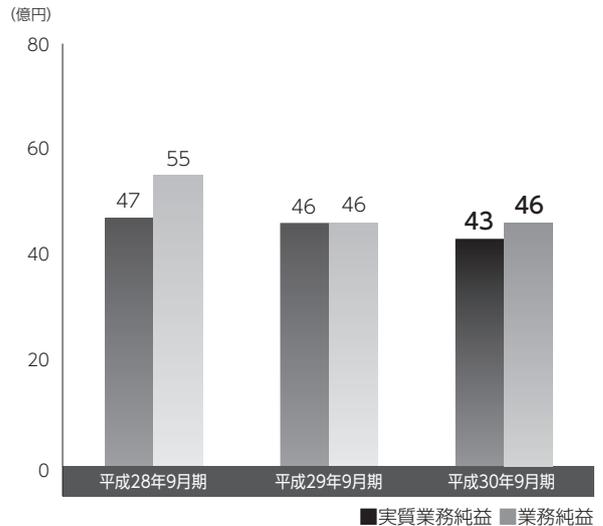


## 実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、資金利益は増加しましたが、役務取引等利益やその他業務利益の減少により、前年同期比3億2百万円減少の43億86百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金の戻入により、前年同期比45百万円減少の46億43百万円となりました。

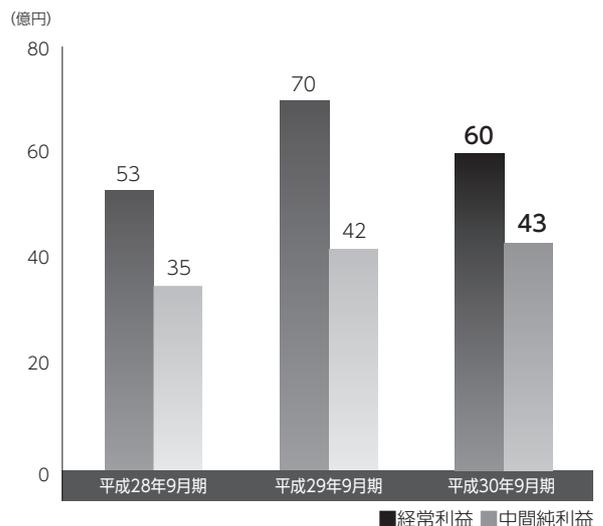
## 実質業務純益と業務純益



## 経常利益と中間純利益

臨時損益は、株式等関係損益は増加しましたが、前年同期に計上した貸倒引当金戻入益の反動減等により、前年同期比10億円減少の13億67百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比10億46百万円減少の60億10百万円、中間純利益は、特別損益の改善や法人税等の減少により、前年同期比1億25百万円増加の43億87百万円となりました。

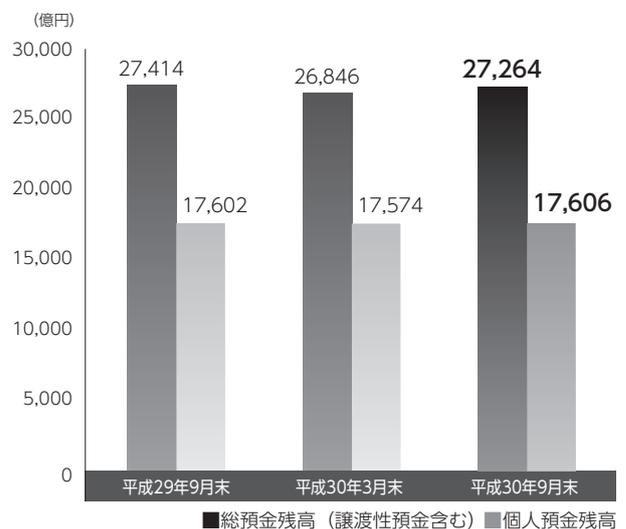
## 経常利益と中間純利益



## 総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金や法人等預金は増加しましたが、譲渡性預金の減少により、前年同期末比150億円減少の2兆7,264億円となりました。前年度末との比較では418億円増加しました。

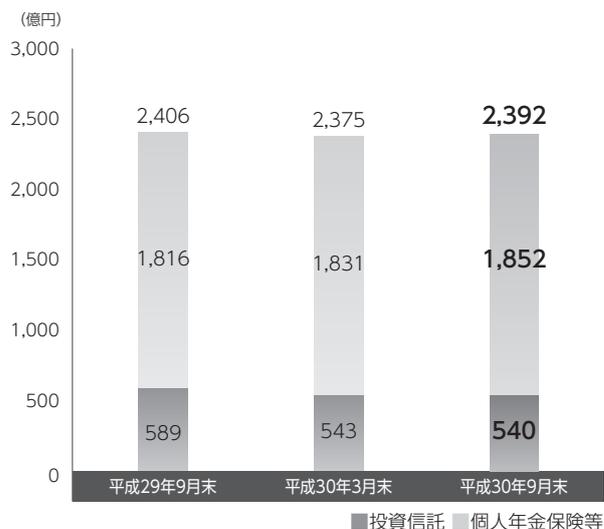
## 総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



## 個人預り資産(投資信託、個人年金保険等)

預り資産(投資信託、個人年金保険等)は、お客さまの資金運用ニーズの多様化に対応しました結果、個人年金保険等は増加しましたが、投資信託の減少により、前年同期末比13億円減少の2,392億円となりました。前年度末との比較では17億円増加しました。

個人預り資産残高(投資信託および個人年金保険等)



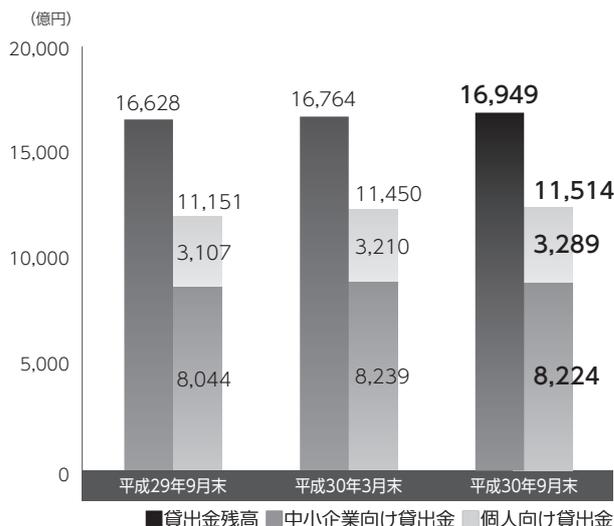
## 貸出金と中小企業等貸出金

貸出金は、中小企業向け貸出金や個人向け貸出金の増加により、前年同期末比321億円増加の1兆6,949億円となりました。前年度末との比較では185億円増加しました。

中小企業向け貸出金は、事業性を評価した取組みを強化し、前年同期末比180億円増加の8,224億円となりました。前年度末との比較では14億円減少しました。

個人向け貸出金は、住宅ローンやその他ローンがそれぞれ増加し、前年同期末比181億円増加の3,289億円となりました。前年度末との比較では78億円増加しました。

貸出金残高と中小企業等貸出金(中小企業向け貸出金および個人向け貸出金)



## 有価証券

有価証券は、前年同期末比553億円減少の9,681億円となりました。前年度末との比較では96億円増加しました。

有価証券残高(円建債券、外貨建債券、投資信託等)

